

# 新人も加わった落語っ子がプロと共演 恒例の第4回佐世保かつちえて落語会

「おじいさん、おじいさん」  
「おいは耳の遠かつちやん、  
ラーメンはうまかつちやん」  
「…なに言ってるんですか」

佐世保弁や地元ネタが満載で、思わず笑ってしまふ創作落語を演じるのは、「佐世保かつちえて落語会」の落語っ子のみなさん。佐世保出身の放送作家、海老原靖芳さん(59歳)が南高時代の同窓生と共に2年前から開催している落語会で、4回目となる今回も落語っ子たちが、プロの噺家の前座を務めます。



身振りや表情も交えて楽しく落語を練習中



海老原さんとメンバー。左より富永旺佑、近藤拓人、富永将暉、井上由一郎、山邊恵介(敬称略)。

前回も参加した富永将暉くん(高一)と山邊恵介くん(高一)に加え、今回は、富永旺佑くん(小4)、井上由一郎くん(小6)、近藤拓人くん(小6)が参加。海老原さんが、自ら手がけたオリジナルの脚本を用い、それぞれの持ち味を活かしながら、表情やしぐさ、間の取り方などを丁寧に指導します。あにさん2人

は新人にアドバイスする場面も。「人前で落語をする自分もすごく楽しくなるんです」と、落語の魅力を感じながら本番に向けて練習に励んでいます。そんな落語っ子たちが前座を務める『第4回佐世保かつちえて落語会』は6月17日(日)午後4時より、コミュニティセンター15階にて開催。柳家喜多八さんと林家正蔵さんが高座に上がります。チケット大人自由席2000円(指定席は完売)、小中高生1000円は、セントラルホテル佐世保などで販売中。詳しくは090・6293・7818(同実行委員会・福田さん)まで。